平成３０年度　第２回
熊谷市地域公共交通会議　次第

平成３１年２月１２日（火）
午後１時３０分～
熊谷市役所６階　６０３会議室

１　開　会

２　会長あいさつ

３　議　題
（１）ゆうゆうバスのルート・時刻の見直し後の
　　経過について
（２）新規路線の試験運行について
（３）ゆうゆうバスのルート・バス停変更について
（４）ほたる号の事業評価について

４　その他
・ユニバーサルデザインタクシー補助事業について
・埼玉県地域公共交通インバウンド利用促進事業について
・駅ホーム声かけサポート講習会の実施報告について

５　閉　会

熊谷市地域公共交通会議　名簿

平成31年2月現在

	役　職	所　属		氏　名	選出基準	備考
1	会　長	熊谷市	副市長	長谷川　泉	副市長	
2	副会長	熊谷商工会議所	副会頭	大久保　和政	住民の代表	代理　専務理事 田島　清
3	委　員	朝日自動車株式会社	常務取締役	栗原　夏樹	一般乗合旅客自動車運送事業者	代理　運輸部課長 田沼　健一
4	委　員	国際十王交通株式会社	取締役営業部長	小熊　和久	一般乗合旅客自動車運送事業者	
5	委　員	株式会社協同バス	代表取締役社長	鈴木　貴大	一般乗合旅客自動車運送事業者	
6	委　員	北斗交通株式会社	代表取締役	山崎　博	一般乗合旅客自動車運送事業者	
7	委　員	熊谷地区構内営業タクシー協議会	会長	柿沼　伸幸	一般乗用自動車運送事業者が組織する団体	代理　副会長 根岸　真治
8	委　員	一般社団法人　埼玉県バス協会	専務理事	鶴岡　洋	一般乗合旅客自動車運送事業者が組織する団体	欠席
9	委　員	一般社団法人　埼玉県乗用自動車協会	専務理事	高原　昭	一般乗用自動車運送事業者が組織する団体	欠席
10	委　員	連合埼玉　熊谷・深谷・寄居地域協議会	事務局長	新井　晃一	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	代理　秩父鉄道労働組合 執行委員長 逸見　一也
11	監　事	熊谷地域	代表	松田　眞市	住民の代表	
12	委　員	大里地域	代表	山﨑　昇	住民の代表 前大里自治会連合会会長	
13	委　員	妻沼地域	代表	小林　芳雄	住民の代表	
14	委　員	江南地域	代表	橋本　弘	住民の代表 江南自治会連合会会長	
15	委　員	くまがや市商工会	理事	鴫原　壽子	住民の代表	
16	監　事	社会福祉法人 熊谷市社会福祉協議会	参事兼熊谷支所長	渡辺　祐一	住民の代表	
17	委　員	くまがや共同参画を進める会	理事	栗原　和江	住民の代表	欠席
18	委　員	関東運輸局埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	青木　宏之	運輸局長運輸支局長又はその指名する者	代理　首席運輸企画専門官 岡安　和幸
19	委　員	関東地方整備局大宮国道事務所	副所長	後閑　浩幸	道路管理者(国道)	欠席
20	委　員	熊谷警察署	交通課長	長谷川　国夫	熊谷警察署長又はその指名する者	代理　規制係長 田村　泰行
21	委　員	埼玉県企画財政部交通政策課	主幹	柳　政男	県企画財政部交通政策課長又はその指名する者	代理　主査 岡戸　豊
22	委　員	埼玉県熊谷県土整備事務所	管理担当課長	高橋　貴和	道路管理者(県道)	
23	委　員	熊谷市建設部管理課	課長	木村　昇	道路管理者(市道)	代理　副課長 矢野　昌司
24	委　員	早稲田大学環境・エネルギー研究科	助手	楊　イ翔	学識経験者	
25	委　員	立正大学地球環境科学部地理学科	専任講師	山田　淳一	学識経験者	
26	委　員	東日本旅客鉄道株式会社　高崎支社	企画室長	内野　亮	その他の交通会議が必要と認める者	
27	委　員	秩父鉄道株式会社	取締役常務執行役員	赤岩　一男	その他の交通会議が必要と認める者	
28	委　員	熊谷市	総合政策部長	清水　敏文	その他の交通会議が必要と認める者	
29	委　員	行田市	総合政策部長	樋口　悟史	その他の交通会議が必要と認める者	欠席
30	委　員	吉見町	政策財政課長	小林　啓三	その他の交通会議が必要と認める者	

※　出席委員　25名

(1) ゆうゆうバスのルート・時刻の見直し後の経過について（報告）

（考え方）

・ゆうゆうバスのルート・時刻の再編については、平成２８年３月に策定した「熊谷市地域公共交通網形成計画」の中で、「速達性向上や効率化」、「循環型から往復型への転換」等について、記述されているところである。

ついては、こうした考え方に従い、**平成３０年１０月１日から**見直しを行った。

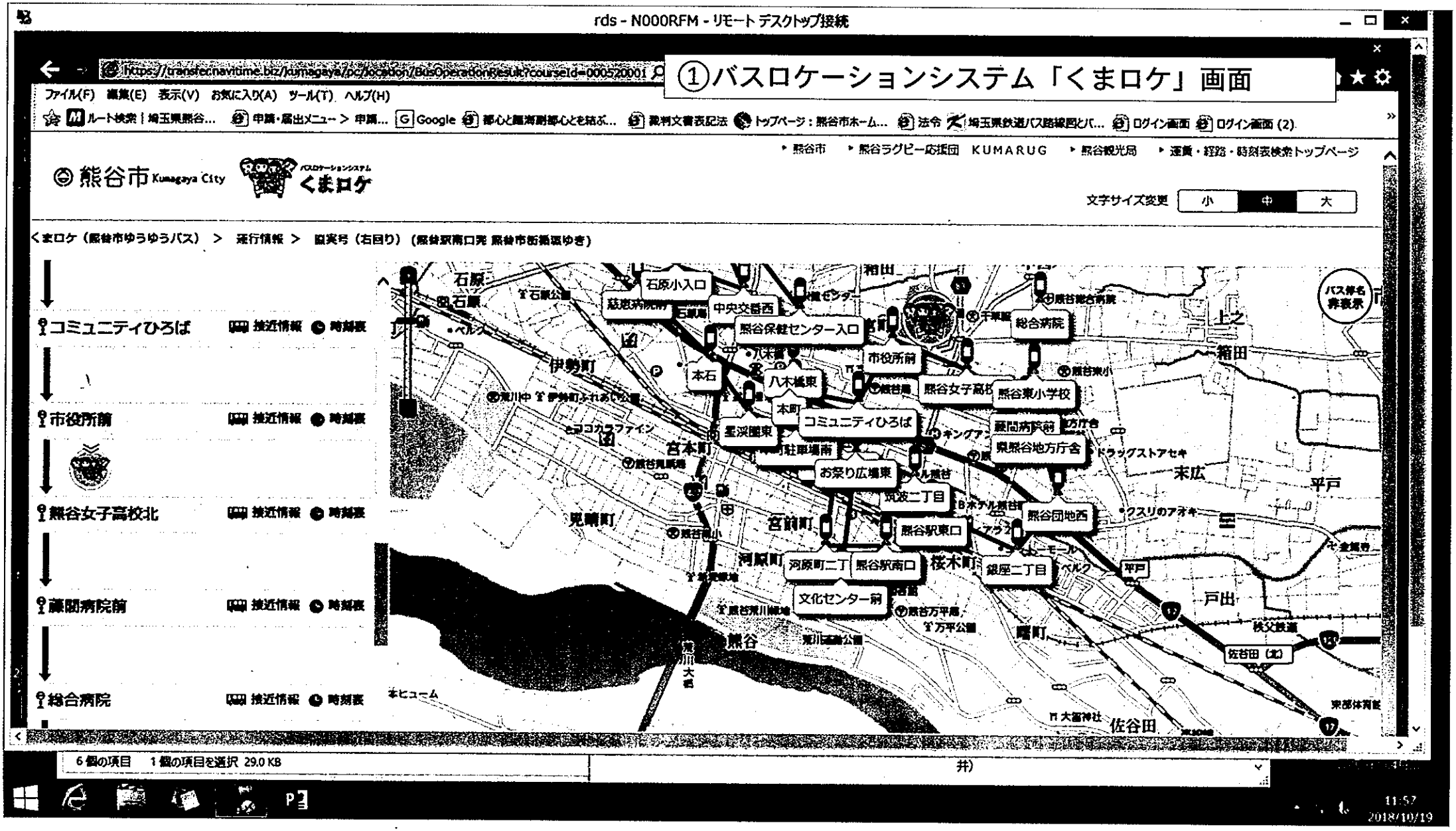
（概要）

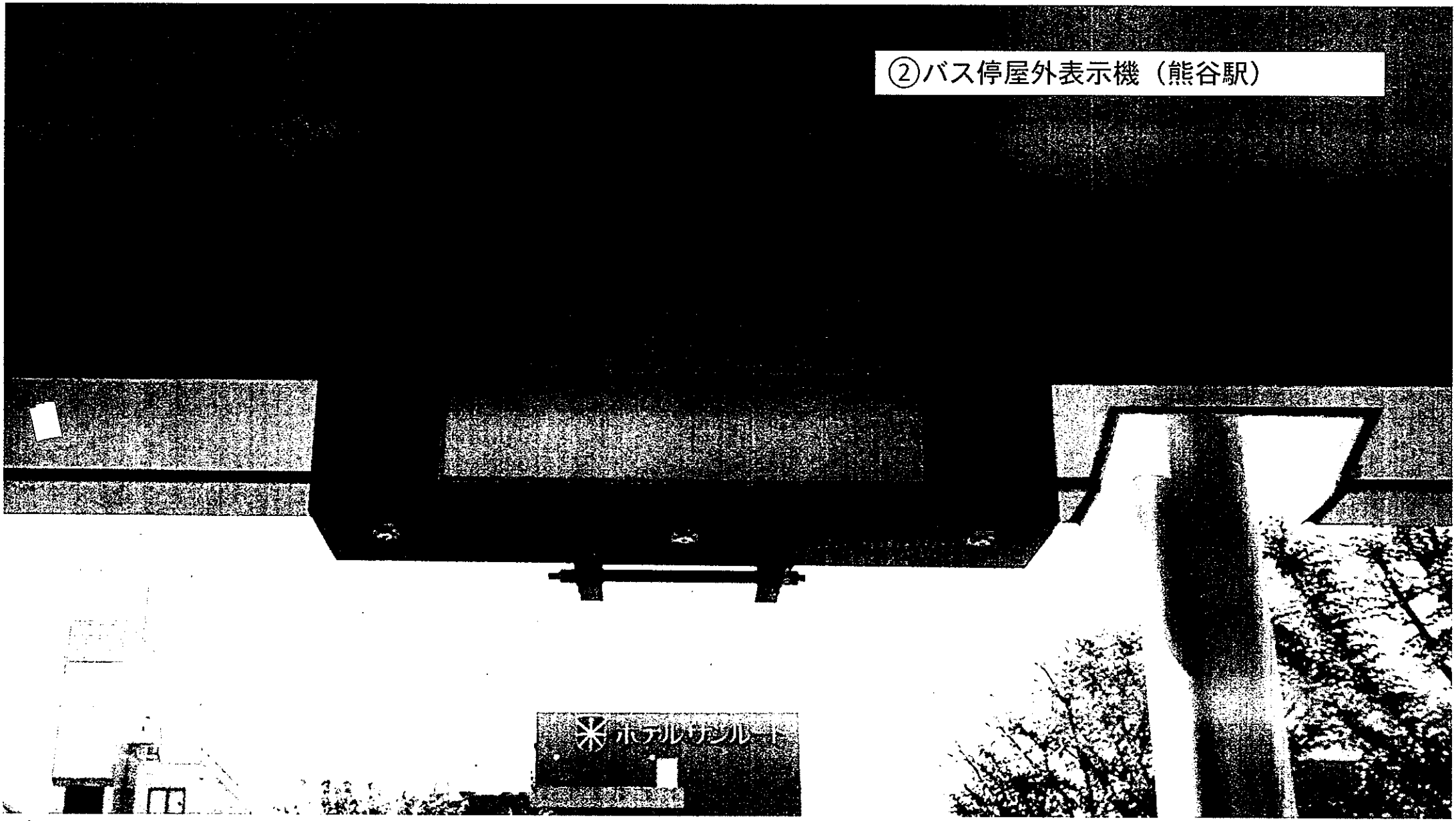
1. **グライダーワゴン**による、妻沼循環路線の新設
2. 速達性を重視した**グライダー号**の再編
3. さくら号路線の分割（**さくら号**、**ムサシトミヨ号**）による、便数増
4. **直実号**の再編（朝夕はさくら号路線を運行）
5. バスの現在地がわかる**バスロケーションシステム「くまロケ」**の導入
6. 熊谷駅、籠原駅に**屋外表示機**の設置

ゆうゆうバス　乗車人数分析

	再編前			H29　月平均
1	籠原駅～三尻～熊谷駅	さくら号	8便	2,616
2	熊谷駅～久下～上之荘		6便	
3	籠原駅～久保島～熊谷駅	ムサシトミヨ号(反時計回り)	5便	2,597
4	妻沼行政センター～スポーツ文化公園～熊谷駅			
5	妻沼行政センター～別府荘～籠原駅	グライダー号(時計回り)	5便	2,350
6	妻沼循環			
7	市街地循環	直実号	11便	1,156
8	長島記念館～大里行政センター～熊谷駅南口	ひまわり号	24便	6,307
9	熊谷駅南口～江南行政センター～籠原駅南口	ほたる号	12便	2,655
合　計				17,681

再編後		30.10	30.11	30.12	平均
さくら号	12便	2,849	2,724	2,755	2,776
直実号(朝・夕)	4便	543	613	563	573
ムサシトミヨ号	9便	1,814	2,015	1,868	1,899
ムサシトミヨ号	8便				
グライダー号(快速)	10便	2,121	2,145	2,093	2,120
グライダーワゴン	10便	1,033	1,043	1,012	1,029
グライダーワゴン	5便				
直実号	7便	1,153	1,089	1,059	1,100
現行どおり	24便	6,359	6,161	6,472	6,331
現行どおり (時刻見直し)	11便	2,852	3,076	3,034	2,987
		18,724	18,866	18,856	18,815

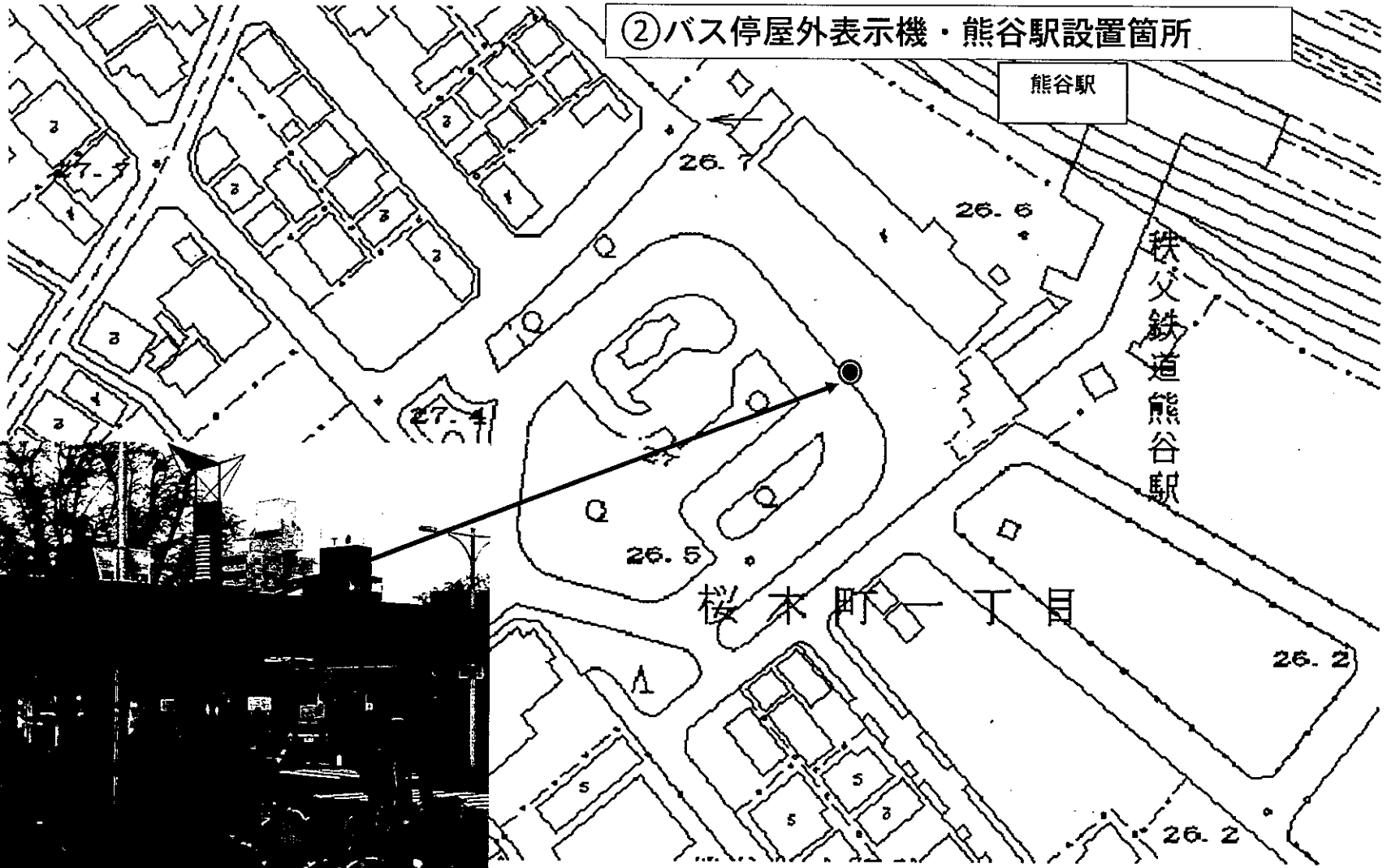

rds - N000RFM - リモート デスクトップ接続
①バスロケーションシステム「くまロケ」画面
熊谷市 Kumagaya City
くまロケ
コミュニティひろば
市役所前
熊谷女子高校北
諏訪病院前
総合病院
接近情報
時刻表
石原小入口
中央交番西
熊谷保健センター入口
市役所前
八木橋東
本町
コミュニティひろば
お祭り広場東
筑波二丁目
熊谷駅東口
熊谷駅南口
河原町二丁
文化センター前
熊谷団地西
銀座二丁目
総合病院
熊谷東小学校
熊谷女子高
県熊谷地方庁舎
諏訪病院前
星渓園東
本石
伊勢町
宮本町
宮前町
河原町
桜木町
箱田
上之
末広
平戸
戸出
佐谷田
熊谷
6個の項目　1個の項目を選択 29.0 KB


②バス停屋外表示機（熊谷駅）
ホテルサンルート

熊谷駅南口
表示機



②バス停屋外表示機・熊谷駅設置箇所



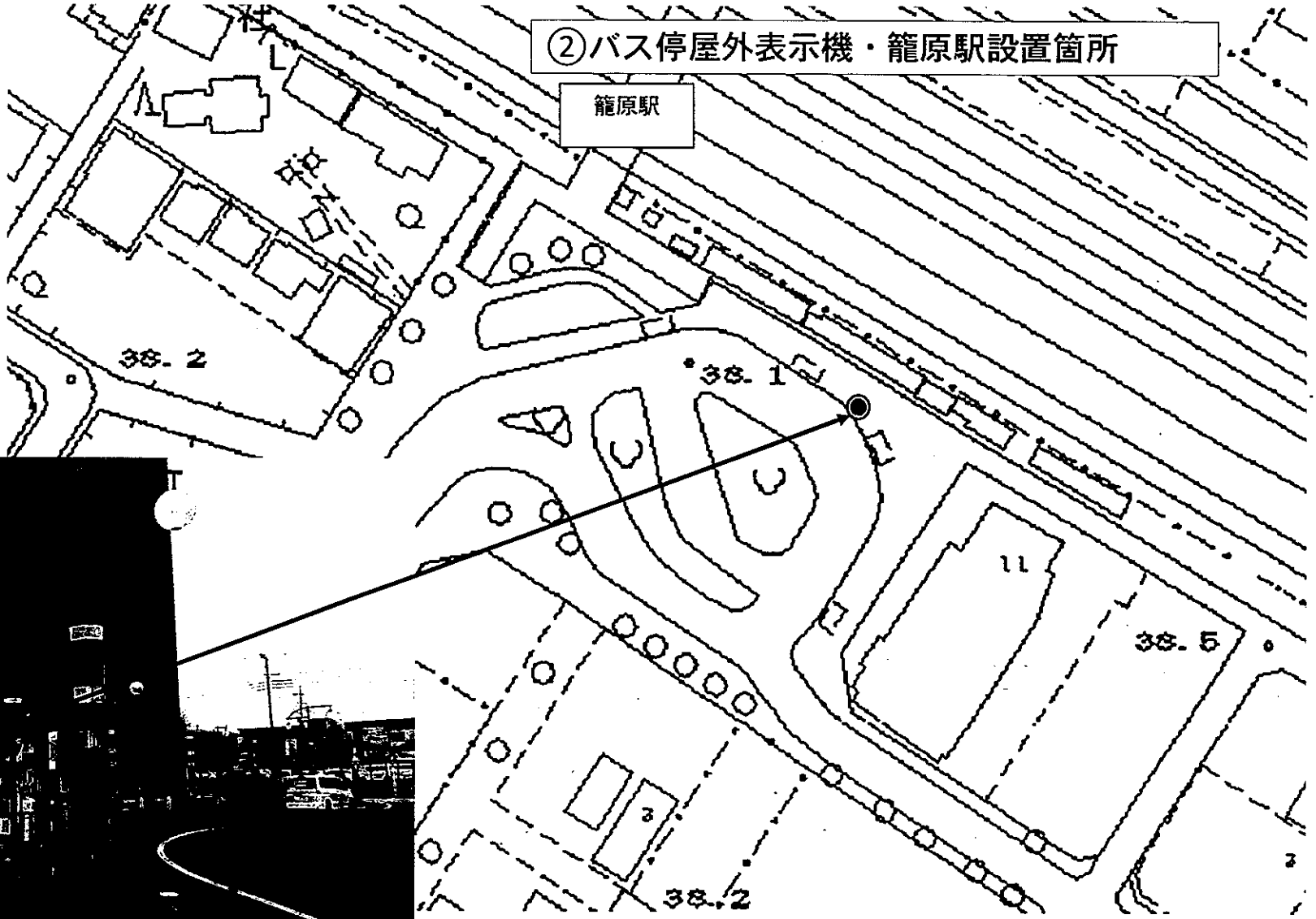


②バス停屋外表示機（籠原駅）

籠原駅南口
表示機



②バス停屋外表示機・籠原駅設置箇所



③グライダーワゴン



取扱注意

（２）新規路線の試験運行について

熊谷西環状線の開通に伴う新規路線の検討にあたり、導入の際の需要を図るため、くまぴあ行きバスの試験運行を行う。

（事業の概要）

1. 実施期間と事務の流れ

・実施期間：平成３１年度上期（３か月程度）

・下記、Ⅰ、Ⅱを実施。

2. 試験運行Ⅰ：朝日自動車(株)の路線バスを乗り入れ

① 朝日自動車路線バス（熊谷駅～バイパス経由～妻沼行き）路線を延伸し、くまぴあに乗り入れる。

② 平日：３０便／日、土日祝：２７便／日（予定）

3. 試験運行Ⅱ：ゆうゆうバスで新規ルートを運行

① 事業概要：ゆうゆうバス（もしくはワゴン）で、籠原駅～くまぴあ～熊谷駅ルートを運行。

② ルート：籠原駅北口～別府～玉井～奈良～くまぴあ～第２北大通り線～総合病院～市役所前～熊谷駅南口

③ 便数：７便／日（予定）

4. 試験運行後の想定

試験運行Ⅰ、Ⅱの乗車人数、アンケート結果、費用等を勘案し、地域公共交通会議の中で事業化の可否について判断する。

（運行事業者選定について）

① 試験運行Ⅰ

・路線バス運行事業者である朝日自動車(株)と協定を締結する。

② 試験運行Ⅱ

・短期の実験であるため、試験運行が可能なゆうゆうバス運行事業者と協定を締結する。

（３）ゆうゆうバスのルート・バス停変更について

1. 総合病院（グライダー号、直実号）（P12 参照）

経緯：熊谷総合病院の建替工事に伴い、ロータリーが一時、使用不可となるため、その間、

①グライダー号：総合病院バス停を移設

②直実号：総合病院バス停を休止

する。移設、休止期間は、平成３１年４月頃、１か月程度。

2. 総合病院付近のルート変更（グライダー号）（P12 参照）

経緯：時刻見直しに伴い、グライダー号１便がスクールゾーン規制にかかるため、迂回を行う。

3. 三尻公民館（さくら号・直実号）（P13 参照）

経緯：平成３０年１０月１日からのルート時刻の改編後、利用者から電話で以下のとおり要望が寄せられた。

「改編前は、右折してさくらめいと方面に行くため、三尻公民館よりも東寄りに立っているが、改編後は、直進のルートとなるため、バス停を三尻公民館の近くにしてほしい。三尻公民館の前になれば歩道橋が雨除けになる。」

→　歩道橋付近への移設。

4. 上須戸ハイツ（グライダーワゴン）（P14 参照）

経緯：バス停付近に住宅が建設されるため、移設する。

5. 籠原駅北口（グライダーワゴン）（P15 参照）

経緯：安全性向上のため、籠原駅北口へのルートを変更する。

別添1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

平成31年1月31日

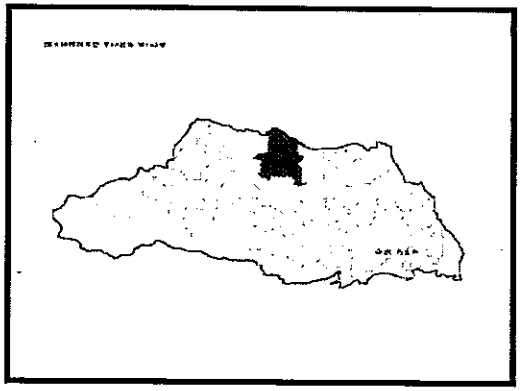
協議会名：熊谷市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
事業者名： 国際十王交通株式会社	運行系統名： 江南地区路線「ほたる号」 【概要】一般乗合旅客自動車運送事業 【運行日】平成23年10月1日運行開始。毎日運行。ただし、1月1日から1月3日まで運休。 【運行時間帯】6:18～19:25 【運行本数】1日5．5往復 【運行ルート】江南行政センター～熊谷駅南口～江南行政センター～籠原駅南口～江南行政センター 【運行車両】ノンステップバス1台※国庫補助金「車両原価償却費等」あり 【運賃】（1）1回の運賃　100円（2）1日乗車券　300円（3）回数券（11枚綴り）1,000円（4）運賃の免除について　未就学児、障害者手帳（3種）所持者及びその介助・付添人1人、運転免許自主返納者（無料乗車証か運転経歴証明書の提示）	目標については、順調に達成しているが、更なる利用促進を行うため、平成27年3月に策定した「熊谷市地域公共交通網形成計画」に従い、平成30年10月にルート・時刻の見直しを行った。（本系統は変更なし。）	A	計画どおりに事業が開始され、順調に運行されていた。	A	【利用者数】 《目標》 平成29年度（H28.10.1～H29.9.30）30,000人 1便（往復）当り14.7人 《実績》 平成30.9月末時点 （H29.10.1からH30.9.30まで2037便運行） 31,335人 1便当り15.4人 《考察》 平成28年9月末時点の1便当りの乗車人数の実績が15.1人であり、今回の実績が15.4人であることから、僅かながら増加している。これは、バスの遅延対策として平成30年4月1日から0.5便の減便を行ったが、乗車人数への影響が少なかったことによるものである。	【既に実施した利用促進策】 ・「江南地区路線」の愛称、イラストを公募し、新規車両の納車に合わせ、ラッピングを施工した。 ・江南地区の地元自治会と一緒に周知を行い、更なる利用者の増加に努めた。 ・H27.1から利用促進策の一環として、回数券を販売した。 ・H30.10から、バスロケーションシステムの導入、熊谷駅、籠原駅バス停への表示機設置を行った。 【今後の改善点】 ・H30.10からのルート・時刻の見直し後の推移を見ながら、路線の充実を図り、利用者の増加を図る。

（4）ほたる号の事業評価について

平成29年度　熊谷市地域公共交通会議（埼玉県熊谷市）
（地域内フィーダー系統確保維持事業）



面　積		159.82 Km²
人口（H29.4.1時点）		197,861人
	15歳未満	23,309人
	65歳以上	55,255人
高齢化率		27.93 %
世帯数		85,696世帯

概要

○地域の公共交通の現況

熊谷市は平成17年に大里町と妻沼町、平成19年に江南町と2度の合併により広域な市となる。
市の東西方向をJR高崎線と上越新幹線、秩父鉄道の3路線6駅が通っている。
路線バスやタクシーなどの交通機関が比較的整備されており、コミュニティバスである「ゆうゆうバス」が路線バス網を補完する形で運行されている。
鉄道と路線バスの利用者は近年ほぼ横ばいとなっているが、ゆうゆうバスは平成20年度に一度ピークを迎えたが、平成23年度に2路線増やし、平成29年度までほぼ横ばいで推移している。

○事業の目的・必要性

熊谷市の江南地区では、特に同地区北部エリアにおいて、路線バスの廃止による公共交通不便地域が大きく存在していた。江南自治会連合会など地元から同エリアに公共交通導入について要望があったため、熊谷市地域公共交通会議で検討を行い、同地区への運行計画などを盛り込んだ「熊谷市地域公共交通総合連携計画」を策定した。

○事業の概要

1　運行区間　江南行政センター～熊谷駅南口～江南行政センター～籠原駅南口～江南行政センター
2　運行日　毎日（ただし、1月1日から1月3日まで運休）
3　運行時間帯　6時18分から19時25分まで
4　運行本数　1日5．5便（江南行政センター～熊谷駅南口6便、江南行政センター～籠原駅南口5便）
5　運行車両　ノンステップバス　1輌
6　運賃
（1）1回の運賃　100円
（2）1日乗車券　300円
（3）回数券（11回分）　1，000円
（4）運賃の免除について
①未就学児
②障害者手帳（3種）所持者及びその介助、付添人1人
③運転免許返納者（無料乗車証か運転経歴証明書の提示）

協議会開催状況・検討内容

○協議会の開催状況　2回開催
・平成29年度第2回（平成30年2月8日）
ゆうゆうバスのルート時刻の変更について
ほたる号の事業評価について
・平成30年度第1回（平成30年5月15日）
平成29年度事業及び決算について
平成30年度事業及び予算について
ゆうゆうバス運行事業者選定
プロポーザルの実施について　他

定量的な目標・効果

（目標）

・1年間の利用者数を30,000人以上とする

・1便当たり利用者数を14.7人以上とする

（効果）

・公共交通（ゆうゆうバス、民間路線バス）に満足している江南地区住民の割合が向上する。

目標・効果の達成状況

江南地区路線（ほたる号）： 結果（1年間の利用者数 31,335人 1便当たり利用者数 15.4人）

・目標数値については、すべて達成できた。

今後の改善点

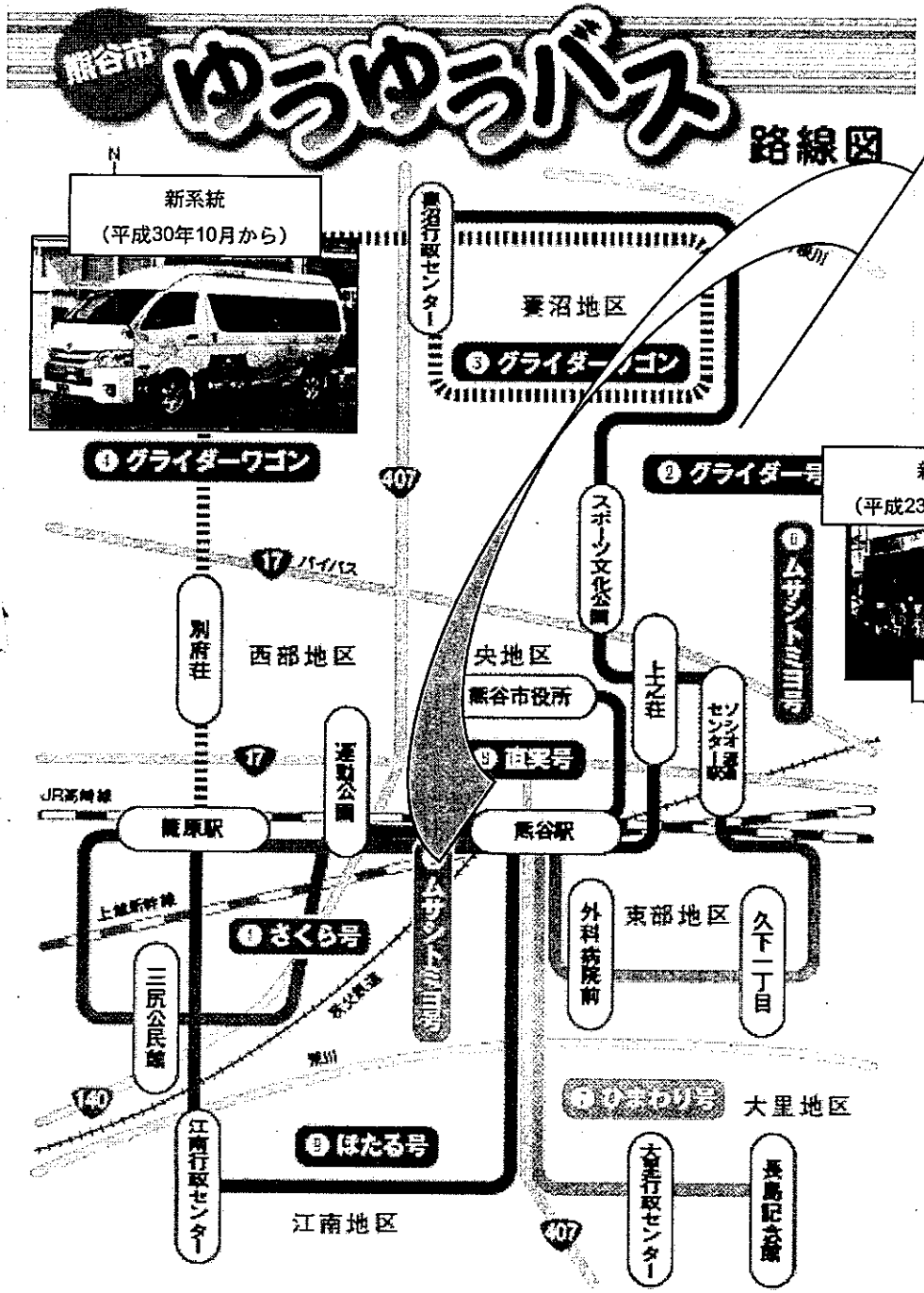
・時刻・ルートの見直しを行う中で、より利用しやすい路線の充実を図る。

アピールポイント

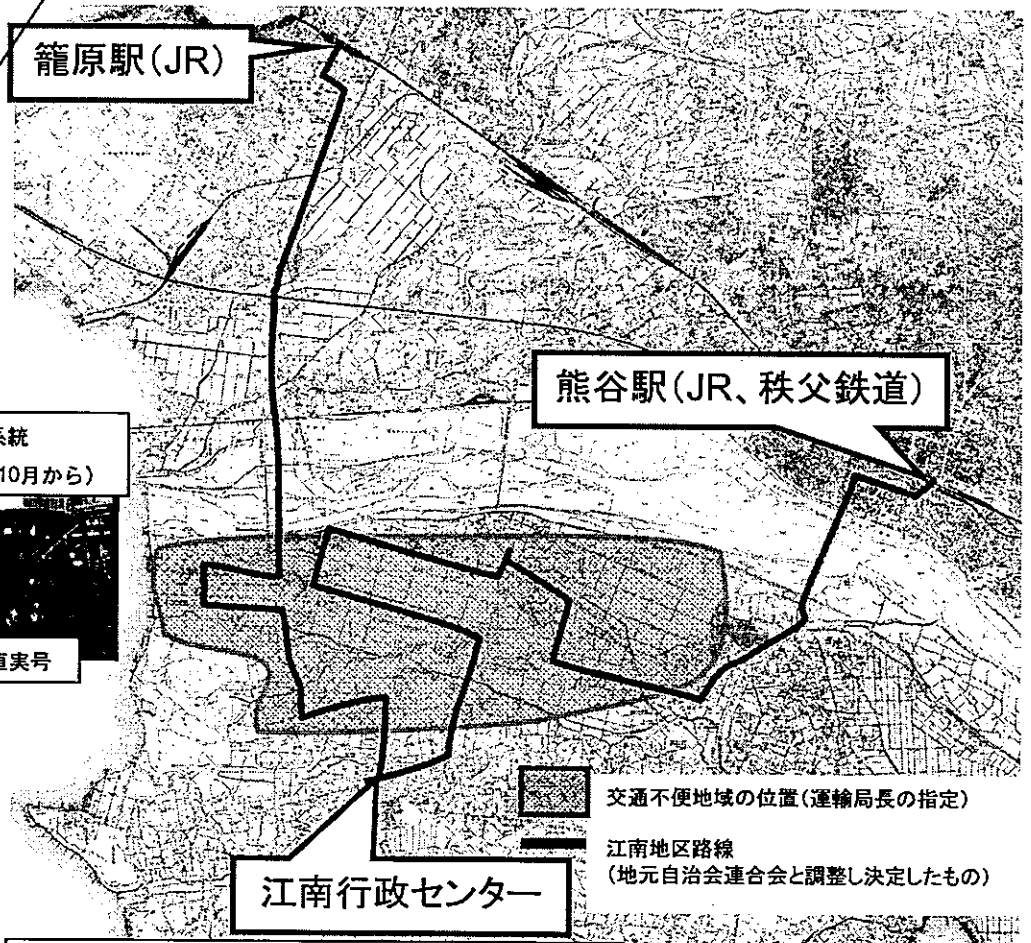
・平成30年10月からのゆうゆうバスのルート・時刻の見直し（本路線は該当せず）に伴い、バスロケーションシステムの導入、熊谷駅、籠原駅バス停に表示機の設置を行った。

・「江南地区路線」の愛称、イラストを公募し、新規車両の納車に合わせ、ラッピングを施行した。

地域概要（広域）・事業実施区域



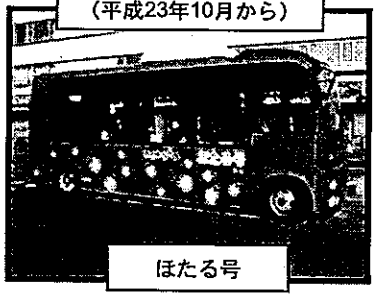
ゆうゆうバス江南地区路線「ほたる号」詳細図



【ゆうゆうバス江南地区路線「ほたる号」】

- 運行コース　：江南行政センター～熊谷駅南口～江南行政センター
  ～籠原駅南口～江南行政センター
- 運行主体　：国際十王交通㈱
- 運行車両　：36人乗りノンステップバス1台
- 運行日　：毎日運行（ただし、1月1日から1月3日まで運休）
- 運行時間帯：6時18分から19時25分まで
- 運行回数　：6便/日
- 運賃体系　：(1)1回の運賃　100円
  (2)1日乗車券　300円
  (3)運賃の免除について
  ①未就学児②障害者手帳（3種）所持者及びその介助、付添人1人③運転免許返納者

新系統
（平成23年10月から）



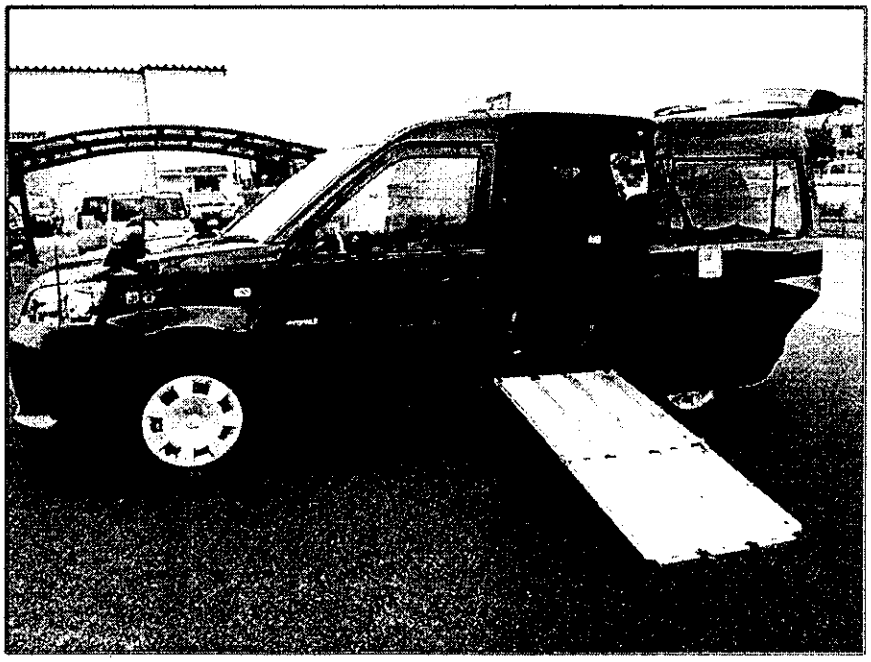
ほたる号

ユニバーサルデザインタクシー補助事業

1. 目的：ラグビーワールドカップ２０１９、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、高齢者や障害者、訪日外国人旅行者をはじめ誰もが利用しやすいタクシーの普及促進を図る。
2. 内容：ユニバーサルデザインタクシー車両を購入もしくは借用する市内のタクシー事業者に、運行経費として補助金を交付する。

   補助金額：１台あたり３０万円（１台あたり１回限り）

   平成３０年度 導入予定台数：９台
3. ＰＲポイント：高齢者や障害者の方々の利便性向上はもとより、ラグビーワールドカップ２０１９の開催に向け、訪日外国人をはじめとする来訪者に対する、熊谷のおもてなしの一つになると考えている。





ユニバーサルデザインタクシーマーク